

平和行進活動交流ニュース

発行：原水爆禁止国民平和行進中央実行委員会事務局

電話:03 - 5842 - 6031 FAX:03 - 5842 - 6033 Eメール：antiatom55@hotmail.com

2017年
5月10日
発行

寒風吹く中でも元気に行進出発

2017年原水爆禁止国民平和行進・北海道→東京コースの出発時に、中央実行委員会を代表して参加した全日本教職員組合執行委員の山本乃里子さんの感想を紹介します。



寒風吹きすさぶ中、北海道→東京コースが礼文島から出発しました。通し行進者の五十嵐成臣さん、6月のニューヨーク行動に参加する北商連の長谷聡子さんを先頭に、元気よく歩き出しました。

礼文島では、国公労連（全労働）のみなさんや全教の宗谷教職員組合礼文支部の先生たち、そして40年にわたって平和行進を続けてこられた堀内進礼文町議（無所属）も駆け付けてくださいました。（かの有名な「平和行進とともに春が来る」と発言された方です！）

天候が危ぶまれましたが、参加したみなさんのおこないがよほど良かったと見え、フェリーも順調に出発し、稚内市内での行進も雨に降られることなくおこなわれました。稚内市内行進に先立っておこなわれた集会では、口々に「核兵器禁止条約」が締結されるという歴史的な意義や、希望が語られ、わくわくする気持ちで行進をすることができました。人通りは決して多いとは言えませんが、すれ違う人や車から手を振ってくれる方もおられ、嬉しくなりました。

翌日の自治体訪問では、五十嵐さんと山本が共産党市議の佐藤ゆかりさん、中尾利一さんとともに、稚内市の教育長、副議長、総務部長（市長が公務により不在のため）とそれぞれ懇談することができました。約30年前に子ども平和都市宣言をしている稚内市ということで、みなさん快くペナントに署名してくださいました。また、ヒバクシャ国際署名の協力もお願いしたところ、庁舎で回覧しますとのことでした。署名が帰ってくるのが楽しみです。五十嵐さんはその後豊浦町へ向かわれました。

国際青年リレー日誌をブログにアップ

国際青年リレー行進者として5月6日夢の島から31日まで東京、神奈川、静岡を通して歩いているケイラ・ウォーリーさんの日誌を原水協通信ブログの平和行進特設ページにアップしています。国際青年リレー行進者の日誌を日本語に翻訳してくれるボランティアスタッフを募集しています。興味のある方は事務局までご連絡ください。

海外青年通訳サポーター一募集

中央実行委員会では、国際青年リレーに参加した海外青年が気持ち良く歩けるように、通訳サポーターを募集しています。自身のホームページで神奈川県内の行進の様子を毎日レポートしている竹田昭彦さんによると、5月8日の行進から国際青年リレー行進者のケイラ・ウォーリーさん(アメリカ)の挨拶では、通訳を、わかやま市民生協のリレー行進者の小畑和也さんがおこなったと報告されています。小畑さんは、関西外国語大学で英語を専攻し、日常の通訳もできるとのことで、神奈川県実行委員会の事務局は、喜んでお願いしていました。



出発集会で挨拶する国際青年リレー行進者のケイラ・ウォーリーさん(右)と通訳するわかやま市民生協リレー行進者の小畑和也さん(2017/5/08、川崎市川崎区・稲毛公園)

2017年原水爆禁止国民平和大行進 四国コース香川県さぬき市を出発



5月9日さぬき市役所前で記念撮影

中央はさぬき市の大山茂樹市長、その右は松永始県原水協筆頭代表理事

とくみの写真や記事を antiatom55@hotmail.com までお送りください。